

保護者の方へ

休校中の学習シート

名まえ ( )

☆休校中、子どもたち自身が復習するだけでなく、保護者の方がこの学習シートを参考にしながら、お子さんと一緒に教科書の学習内容を進めていってください。学校が再開されたら、以下の内容は学習したのものとして、次の単元から学習を始めます。よろしくお祈りします。

☆算数

\*毎日計算カードの①～②のどれかをして、カードに記入してください。

ページ	やり方
① 教科書 P15	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校で、前時に2けたの数のたし算は、10のまとまりどうし、ばらのまとまりどうしに分けて計算することを学習しているので、そのための方法として、筆算を使うことを知らせる。</li> <li>P15の「35+12のひっ算のしかた」を見ながら、位どりシート(別紙)に黄色いブロック(別紙)を並べる。</li> <li>10のまとまりどうし、ばらのまとまりどうしで、黄色いブロックを合わせ、答えを出す。(やり方を説明させるといいと思います。)</li> <li>黄色いブロックの手順を、ノートに筆算の形で書き、一の位から計算する。</li> <li>練習①の①～⑤を筆算の形にして、計算する。(数字を書く位置をまちがえることが多いです。)</li> </ul> <p>10の束を2つ作り、十の位に移動する。</p>
② P16	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の35+12のやり方を思い出し、「32+4」の計算をすることを知らせる。</li> <li>位どりシート(別紙)に黄色いブロック(別紙)を並べる。4は、十の位がないことをおさえる。</li> <li>10のまとまりどうし、ばらのまとまりどうしで、黄色いブロックを合わせ、答えを出す。(はるとさんやみさきさんのやり方を見て、つづきを説明させるといいと思います。)</li> <li>黄色いブロックの手順を、ノートに筆算の形で書き、一の位から計算する。</li> <li>ノートに②の⑦～⑯をしてから、練習②の①～③を筆算の形にして、計算する。(数字を書く位置をまちがえることが多いです。)</li> </ul> <p>4の束を1つ作り、十の位に移動する。</p>

③ P17	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を読み、ノートに式と筆算を書く。</li> <li>前時とちがうところはどこか考える。</li> <li>一の位が10より大きくなることをおさえる。</li> <li>りくさんとしほさんのやり方を参考にしながら、どうやったら計算できそうか考える。</li> <li>一の位が10より大きくなる筆算もくらいごとに計算すればできることをつかむ。</li> </ul>
④ P18	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時のやり方を思い出し、「35+29」の筆算をすることを知らせる。</li> <li>P18の「35+29のひっ算のしかた」を見ながら、位どりシート(別紙)に黄色いブロック(別紙)を並べる。</li> <li>ばらのまとまりから合わせ、十の束1つを作り十の位に移動する。10のまとまりどうしを合わせ、答えを出す。(やり方を説明させるといいと思います。)</li> <li>黄色いブロックの手順を、ノートに筆算の形で書き、一の位から計算する。必ず繰り上がりのメモ1を書くようにする。</li> <li>練習①の①～⑧を筆算の形にして、計算する。(繰り上がりのメモ1を書き忘れることが多いです。)</li> </ul> <p>この繰り上がり「メモ1」大切</p> <p>35 + 29 = 64 (1+3+2) → 64</p>
⑤ P19	<ul style="list-style-type: none"> <li>「28+32」(一の位が0になる筆算)や「28+6」(たす数が1けた)や「3+87」(たされる数が1けた)の筆算を今までに習ったやり方であることを知らせる。</li> <li>前時と同じように、位をそろえて書いて、一の位からじゅんに計算するといことをおさえる。</li> <li>練習②③の16問を筆算の形にして計算する。(数字を書く位置をまちがえることが多いです。)</li> <li>練習④は、しき、ひっさん、こたえの3点セットです。</li> </ul>
⑥ P20	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を読んで、絵やテープ図で問題の意味をとらえる。</li> <li>テープ図に数字を書き入れる。</li> <li>式を立てて筆算で計算する。</li> <li>自分の立てた式とあみさんとりくさんの立てた式を比べる。(同じところやちがうところを説明させるといいと思います。)</li> <li>はるとさんとしほさんの言葉のつづきを考える。</li> <li>あみさんの「17+24」とりくさんの「24+17」を筆算の形にして計算し答えを比べる。</li> <li>ふたばマークのところをノートに書き、たされる数とたす数を入れかえて計算しても答えは同じになることをまとめる。</li> <li>練習①をノートに筆算の形で書いて計算し、教科書に線でむすぶ。</li> </ul>
⑦ P21	<ul style="list-style-type: none"> <li>今まで学習したことをふり返り、練習問題をやる。(別紙)</li> </ul>

☆国語

プリント集は 4/30(木)か 5/1(金)に提出

\*毎日本読みをして、本読みカードに記入してください。

ページ	やり方
① かんじドリル ⑨の新出漢字	<ul style="list-style-type: none"> <li>一文字ずつドリルを読む。</li> <li>書き順を確かめる。</li> <li>空中に書いて練習する。</li> <li>ドリルに4つ練習する。(それを繰り返します。)</li> <li>新出漢字3つにつき、漢字ノート1ページを使って練習する。(やり方の見本を最初のページにはっています。日にち・かんの何番かを書いてから始めましょう。)</li> </ul>
② 教科書 P 30・31	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読をする。</li> <li>春にはどんなものが見られるか、親子で話し合う。(生活科の課題の春見つけとからめてやると楽しいです。)</li> <li>「はながさいた」の詩を調子よく読めるように練習する。</li> </ul>
③ P 38・39	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書P144～P147にお話のついているので、読んで聞かせてあげてください。</li> <li>だれが出てきたか、どんなことがおこったかノートに書いて、家の人と話し合う。</li> </ul>
④ P 52～57	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習はんいを読む。(新出漢字をまだ習っていないので、読んであげてください。)</li> <li>自分が「かんさつするもの」を決める。</li> <li>P53のかんさつのポイントをしっかり確かめる。目、耳、鼻、手ざわりなどを使うととてもいいです。</li> <li>くまで図(別紙)に、見つけたことを書き入れる。(なかなか書けない時は、家の人とお話しながら、見つけたことを言葉に表せるように支援してあげてください。)</li> <li>くまで図に書き表したものをどの順番に文章にするかを考えて、番号を書く。</li> <li>くまで図をもとに、「かんさつをきろく文」をかんさつシート(別紙)に書く。</li> <li>日にちを書いてから、文章を書く。「～ます。」や「～ました。」のような敬体が望ましい。)</li> <li>書いた文章のよいところをしっかりと伝えてほめてあげてください。</li> </ul>

くまで図

かんさつ名人になろう  
(くまで図のりかき 52～57ページ)

見たこと 聞いた音 におい (手ざわり)

月 日 年 組( ) 名前

① じぶんのかんさつしたいものをのく

② かんさつしたことをメモしておく

③ かんさつした文に書く順番を決める

④ かんさつした文に書く順番を決める

⑤ かんさつした文に書く順番を決める

⑥ かんさつした文に書く順番を決める

⑦ かんさつした文に書く順番を決める

⑧ かんさつした文に書く順番を決める

⑨ かんさつした文に書く順番を決める

⑩ かんさつした文に書く順番を決める

⑪ かんさつした文に書く順番を決める

⑫ かんさつした文に書く順番を決める

⑬ かんさつした文に書く順番を決める

⑭ かんさつした文に書く順番を決める

⑮ かんさつした文に書く順番を決める

⑯ かんさつした文に書く順番を決める

⑰ かんさつした文に書く順番を決める

⑱ かんさつした文に書く順番を決める

⑲ かんさつした文に書く順番を決める

⑳ かんさつした文に書く順番を決める

㉑ かんさつした文に書く順番を決める

㉒ かんさつした文に書く順番を決める

㉓ かんさつした文に書く順番を決める

㉔ かんさつした文に書く順番を決める

㉕ かんさつした文に書く順番を決める

㉖ かんさつした文に書く順番を決める

㉗ かんさつした文に書く順番を決める

㉘ かんさつした文に書く順番を決める

㉙ かんさつした文に書く順番を決める

㉚ かんさつした文に書く順番を決める

㉛ かんさつした文に書く順番を決める

㉜ かんさつした文に書く順番を決める

㉝ かんさつした文に書く順番を決める

㉞ かんさつした文に書く順番を決める

㉟ かんさつした文に書く順番を決める

㊱ かんさつした文に書く順番を決める

㊲ かんさつした文に書く順番を決める

㊳ かんさつした文に書く順番を決める

㊴ かんさつした文に書く順番を決める

㊵ かんさつした文に書く順番を決める

㊶ かんさつした文に書く順番を決める

㊷ かんさつした文に書く順番を決める

㊸ かんさつした文に書く順番を決める

㊹ かんさつした文に書く順番を決める

㊺ かんさつした文に書く順番を決める

㊻ かんさつした文に書く順番を決める

㊼ かんさつした文に書く順番を決める

㊽ かんさつした文に書く順番を決める

㊾ かんさつした文に書く順番を決める

㊿ かんさつした文に書く順番を決める

☆生活

内容	やり方
① 春見つけビンゴ	<ul style="list-style-type: none"> <li>春見つけビンゴ(別紙)を持って、観察に行く。家の庭、近くの公園、お散歩の道沿いなど(人通りの多い場所を避けて行ってください。)で見つけたものを○で囲み、家に帰って、気づいたことをまとめる。</li> </ul>
② 町のよいところ 見つけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>二福学区の中で、おもしろい、すてき、自慢できるなど、二福の町のいいところだなどと思うものをプリントに書く。(例 お店、昔からある神社や寺や遺跡、子どもが楽しく過ごせる場所、みんなが使える施設、自然が豊かな場所など)</li> <li>プリントの右側の地図に、その場所を書きこむ。(子どもたちは、まだ地図の学習をしていないので、大体の場所を教えてあげてください。)</li> <li>この学習が、次の町たんけんの学習に生かされます。</li> </ul>

☆音楽

ページ	やり方
教科書 P 22・23 かっこう	<ul style="list-style-type: none"> <li>音の高さに気をつけて、歌詞やドレミで歌う。(何回も歌って覚えましょう。)</li> <li>P23を参考にして、けんぼんハーモニカでふけるように、練習する。</li> <li>P22のように指をけんぼんに置くと、指を移動しなくてもふくことができる。1本指でふいたり、手を移動してふいたりしないで、ふけるようになることが望ましい。)</li> </ul>

☆図工

ページ	やり方
教科書 P 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のしたことの中で、一番すきなことを描くことを知らせる。(どんなことがすきか、題名のようにイメージマップで広げてもよい。)</li> <li>すきなことの描きたい場面が決まったら、画用紙の白い面にクレヨンで描く。(縦がきでも横がきでもよい。)必ず、自分を入れて表現する。</li> <li>クレヨンのはじき効果やぼかし効果を使うと楽しい作品になる。</li> <li>まわりを絵の具でぬる。</li> <li>うらに、クラスと名前を書く。</li> </ul> <p>＜はじき効果＞ クレヨンの上から絵の具をぬるとはじく。</p> <p>＜ぼかし効果＞ クレヨンでぬった後、ガゼやティッシュでこするとぼやけた雰囲気が出せる。</p> <p>＜イメージマップ例＞</p> <p>すきなこと なかに お母さんと お話し ドッジボール リビングソファ お母さんと お話し お母さんと お話し</p>